

大学院 生命健康科学研究科

生命医科学専攻

授業科目および単位数

学 生 便 覧

2022年度より抜粋



中部大学

生命医科学専攻（博士前期課程）

（単位数に○印のある科目は必須科目）

授 業 科 目		単位数		持続社会創成教育プログラム※	
研究科共通科目	導 入 科 目	生 と 死 の 文 明 論	②	指導教授の指導のもとに、必修科目を含め、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文を提出し、その審査及び試験に合格すること。	指導教授の指導のもとに、必修科目を含め、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査及び試験に合格すること。
		ヘルスプロモーション論	②		
		疾病予防科学概論	①		
		医用技術の未来学	1		
		障害科	1		
		地域健康支援論・演習	1		
		生命健康科学研究法A（生命医科学概論）	①		
		生命健康科学研究法B（疫学統計）	1		
生命健康科学研究法C（基礎・臨床実験研究計画法）	1				
生命医科学専攻共通科目	特 論	分子生物学特論	2	指導教授の指導のもとに、必修科目を含め、30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、特定の課題についての研究の成果を提出し、その審査及び試験に合格すること。	
		生命制御学特論	2		
		形態解析学特論	2		
		病理病態学特論	2		
		環境予防医科学特論	2		
		環境医科学特論	2		
		感染症防御医科学特論	2		
		先端薬物科学特論	2		
		先端医用材料工学特論	2		
		バイオインフォマティクス特論	2		
	先端医療技術特論	2			
	医用電気電子工学特論	2			
	医療機器安全管理学特論	2			
	特別講義	基盤病態医科学特別講義	1		
		環境予防医科学特別講義	1		
		生命医用技術学特別講義	1		
	実 験	高分子高次解析実験	1		
		遺伝子高次操作実験A（分子細胞学）	1		
		遺伝子高次操作実験B（遺伝子改変）	1		
		生体材料高次分析実験	1		
先端臨床生理学実験		1			
先端臨床工学実験		1			
研 究 分 野	基盤病態医科学領域	基盤病態医科学特別研究A（基盤病態基礎研究）	6		
		基盤病態医科学特別研究B（基盤病態発展研究）	6		
		基盤病態医科学演習A（分子生物学基礎）	2		
		基盤病態医科学演習B（分子形態学基礎）	2		
		基盤病態医科学演習C（分子生物学発展）	2		
		基盤病態医科学演習D（分子形態学発展）	2		
	環境予防医科学領域	環境予防医科学特別研究A（環境予防基礎研究）	6		
		環境予防医科学特別研究B（環境予防発展研究）	6		
		環境予防医科学演習A（環境因子誘導疾患基礎）	2		
		環境予防医科学演習B（感染症・生活習慣病基礎）	2		
		環境予防医科学演習C（環境因子誘導疾患発展）	2		
		環境予防医科学演習D（感染症・生活習慣病発展）	2		
	生命医用技術学領域	生命医用技術学特別研究A（生命医用技術基礎研究）	6		
		生命医用技術学特別研究B（生命医用技術発展研究）	6		
生命医用技術学演習A（生命医用工学基礎）		2			
生命医用技術学演習B（医用技術学基礎）		2			
生命医用技術学演習C（生命医用工学発展）		2			
生命医用技術学演習D（医学技術学発展）		2			

授 業 科 目		単位数	持続社会創成教育プログラム※
持 続 社 会 創 成 科 目	S D G s と 資 源 利 用	1	10単位 以上修得 すること。
	S D G s と 共 生 社 会	1	
	人 類 の 文 化 と 科 学 技 術	1	
	コ ン セ プ ト ・ デ ザ イン	1	
	科 学 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1	
	A I の 基 礎	1	
	A I の 実 践	1	
	基 礎 か ら 学 ぶ 実 践 デ ー タ サ イ エ ン ス	1	
	微 生 物 ・ 植 物 ・ 動 物 の 理 解	1	
	企 業 経 営 の 理 解 と 実 践	1	
	社 会 デ ザ イン 探 求	1	
	樹 冠 生 態 観 察 を 通 じ た 実 践 英 会 話	1	
	地 球 か ら 地 域 を 視 る	1	
	プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 英 語 I	1	
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン 英 語 II	1		

※持続社会創成教育プログラム
(P108) 参照

生命医科学専攻（博士後期課程）

（単位数に○印のある科目は必須科目）

授 業 科 目		単位数	
講 義 目	先 端 生 命 医 科 学 特 論 現 代 病 予 防 医 科 学 特 論	② ②	指導教授の指導のもとに、必修科目を含め、12 単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受け た上で、博士論文を提出して、その審査及び試 験に合格すること。
演 習 科 目	先端生命医科学演習A (糖鎖科学の新展開)	1	
	先端生命医科学演習B (老化の分子基盤)	1	
	先端生命医科学演習C (マイクログRNA)	1	
	先端生命医科学演習D (神経発生学研究の動向)	1	
	先端生命医科学演習E (酸化ストレス病態学の動向)	1	
	先端生命医科学演習F (炎症制御学)	1	
	先端生命医科学演習G (免疫関連疾患研究の新展開)	1	
	先端生命医科学演習H (疼痛神経受容機構研究の新展開)	1	
	先端生命医科学演習I (生活習慣病解析の新視点)	1	
	先端生命医科学演習J (ウイルス検査法開発研究の展望)	1	
	先端生命医科学演習K (神経生理検査法の評価と展開)	1	
	先端生命医科学演習L (循環器疾患生理学的診断法の展開)	1	
	先端生命医科学演習M (医療支援ロボット開発研究の展望)	1	
	先端生命医科学演習N (蛋白質相同性検索の原理と応用)	1	
	先端生命医科学演習O (生体材料の将来展望)	1	
	先端生命医科学演習P (地域包括支援の実践と展望)	1	
	先端生命医科学演習Q (精神医学・神経学領域におけるリハビリテーション研究の動向と展望)	1	
	先端生命医科学演習R (予防医療における身体運動解析の新展開)	1	
先端生命医科学演習S (障害・介護予防支援の動向)	1		
研 究 別	生 命 医 科 学 特 別 研 究	⑧	